

山 中 だ よ り

山中
キャッチ
フレーズ

してもらう
させられる人から
する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第15号

発行 令和2年9月14日 校長 交久瀬善浩

◆◆1・2年生のみなさん、中間テストはどうでしたか◆◆

先週11日(金)で1・2年生は2学期の中間テストが終わりました。今回は1年生は9教科3日間、2年生は7教科2日間でした。みなさん結果はどうでしたか。

定期テストは、その期間の学習範囲をどのくらい理解し且つその内容をどのくらい応用できているかを確かめるためのものです。ですから満点であれば、今回の学習範囲は完璧ということになります。逆に、満点でなかった人は、満点から自分の得点を引いた点数分の学習が不足していたことになります。お金で言えば、借金と同じです。これを放っておくと高校入試のときに取り返しのないことになります。必ず、間違ったところを学習しなおし、借金(学習不足)は早く返済(解消)するようにしましょう。



◆◆3年生はいよいよ明後日から修学旅行です◆◆

3年生は明後日9月16日(水)から18日(金)までの2泊3日で長野県の飯田方面に修学旅行に行きます。新型コロナが無ければ5月に行っていたはずですが、5月は全国で臨時休業となっていたために行くことができず、9月まで延期していました。今回もコロナ感染流行の第2波が8月にやってきたために実施が危ぶまれ、実際に予定していた飯田での民泊ができなくなり、民泊で行うはずだった農業体験も不可能となりました。そのため、宿泊はホテルの連泊で、農業体験の代わりに馬籠宿の散策やリング狩り・ジャムづくりなどを体験するオプションに変更となりました。

3年生の皆さん、山田中は2泊3日ではほぼ予定通りの行程で行くことができますが、枚方市内の約半数の中学校は、修学旅行が1泊2日になったり日帰りになったりしています。せっかく2泊3日で行けるのですから、一緒に行く仲間だけでなく、みなさんの受け入れてくれるホテルの方々、体験学習の場所の係の方々、バスの乗務員さん、旅行社の方々全員が、気持ちよくコロナウィルスのことを心配しないで済むように、手の消毒(1日に何回も必要な場面が出てきます)、マスクの着用等の感染予防をきちっとして、行動するようにしましょう。



手の消毒やマスクの着用は自分自身だけのために行っているのではなく、周りにいるすべての人のために行っているのだということを忘れないように!!自己中心的な行動はくれぐれも慎みましょう!!そして、みんなが楽しめる修学旅行にしましょう!!皆さんの行動に期待しています!!

◆◆暑い中でみんなとても頑張っています。でも少し生活面で規律のゆるみが出てきています◆◆

夏休みも僅か10日しかなく、2学期も早く始まってもうすぐ1か月となります。授業時数を取り戻すために、かなりどの教科も進むことを意識して詰め込みで授業をしています。学校行事も学園祭(体育祭+文化祭の縮小版で1日のみ)と修学旅行(3年)に遠足(1・2年)だけで、学年レクなどの行事も実施できていません。また8月の暑い中での授業実施等で疲れや夏バテなどもあると思います。そんな中で、本当に山中生徒の皆さんはどの学年も、とてもとてもよく頑張っていると思います。

ただここに来て、なんとなくみなさんの表情に疲れのようなものが見受けられ、気の緩みが出ているように感じています。登校時間が徐々に遅くなってきたり、授業中に私語をしたり、あるいは休憩時間中に異常に騒いだり、これまで皆無だった器物破損があったりと少し心配しています。このあたりで一度自分自身の気持ちを点検して、駄目だと思うところは改善して、自ら気を引き締めていきましょう!!

◆◆9月11日（金）、3年生全員に一人一台のタブレットを配布しました◆◆

9月11日（金）に3年生全員に一人一台ずつタブレット（iPad）を配布（貸出）しました。これは、文科省のGIGAスクール構想を受け、枚方市が市内の全小中学生全員に一人一台のタブレットを配備（貸出）することに基づいたものです。今回は3年生のみですが、このあと11月には2年生全員に、12月には1年生全員に配布する予定です。

11日の配布時は本体だけでしたが近々にケースも届きます。また3年生は16日（水）から修学旅行に行くことから、修学旅行の済んだ21日（月）以降でケースが届いてから学校での利用を開始したいと考えていますので、それまでは各家庭で管理し家でだけ利用して、学校には持って来ないようにしてください。

☆3年生は、次の「考えてみよう」の記事を読むのに、配布したタブレットを利用しましょう。



◆◆考えてみよう◆◆

9月9日（水）5:21 配信の東洋経済 ONLINE の記事の中に、『「6分の1公式」が中高生の将来の仕事を奪う悲劇』 著：芳沢光雄氏（桜美林大学リベラルアーツ学群教授）というタイトルの記事を見つけました。かなり長い記事なのでここに転載することができません。ですので、3年生は配布したタブレット、1・2年生のみなさんは家にあるパソコンやスマホ等で次のアドレスにアクセスにて、記事の全文を読んで、この記事について考え、あなた自身の考えや意見をまとめ、これからの学習方法の参考にしてほしいと思います。数学だけでなく、すべての教科に当てはまると思います。



★記事のアドレス

<https://news.yahoo.co.jp/articles/44a40b14fec3add238a58277b4e57a98ba86a13d>

※. 記事は無料で読める記事です。但し、ダウンロードにかかる個人の通信料は必要です。

※. 上記のアドレスを入力するのが大変な人は、次の方法でも可能です。

- ①. Yahoo 等の検索エンジンで「東洋経済 ONLINE」で検索をかけ、記事一覧のページから上記の記事『「6分の1公式」が中高生の将来の仕事を奪う悲劇』のタイトルを探す。
- ②. 山田中学校HPで、「学校だより」⇒「令和2年度学校だより」⇒「第15号」と進み、この記事に掲載されたアドレスをコピーするか Ctrl キーを押しながらクリックする。



■上記記事を読むにあたって、文章中で皆さんに注目してほしい部分を抜き出して掲載しておきます。

- 経済産業省は昨年「数理資本主義の時代 ～数学パワーが世界を変える～」というレポートを発表。経団連（日本経済団体連合会）も「文系学生も数学を必修として学ぶ」という提言を出した。しかし、日本の数学教育はそうした理想とはほど遠い状況にある。
- 「暗記力」と「計算速度」に関して、人間は計算機に勝てない。だが、新しい何かを発想したり、既知の性質をまったく異なる世界に応用することは人間に任せられた仕事だ。
- 人間とAIの関係は冷静に見つめるべきであり、「数学の学びもAIと共存する視点に立つことが望まれる。ところが、現在の小学生から高校生までの数学の学びを見ていると、まるでAIと競う方向に走っているような学びが目立つ。」「マークシート式の問題の答えを当てればよい」という意識が過剰になったような、「理解無視のやり方」暗記の学びが顕著なのである。
- 試行錯誤の問題を出されると「考え抜く」生徒の割合が昔と比べて激減した印象をもつ。例えば、「ここに外見が同一のおもりが13個ある。そのうち1個だけ、ほかと違う重さのおもりがある。天秤を3回使ってそのおもりを決定する方法を述べよ。ただし、そのおもりはほかと比べて軽いか重いかはわからない」という問題を出すと、ほとんど考えないうちから「この問題の解き方を教えてください」という質問が明らかに増えてきた。「およそさまざまな概念をよく理解し、試行錯誤を繰り返すことによって、人間は新しい何かを発想したり、既知の性質をまったく異なる世界に応用することで成功するのである。それゆえ「理解」と「考え抜く姿勢」は大切で、前述のような現状は早急に改善する必要があるだろう。」